

## 外部委員の評価結果

施策目標	(9) 現在と未来を担う人材育成の推進	総括担当課	人材育成推進センター
方針	現在及び未来を元気にする人材を育成することにより、地域の特性や可能性を知り、新たな価値を創造し、志をもって明るい未来の実現に向かって挑戦することができる人があふれたまちを目指します。		

### ■ 評価結果

以下の①～③の項目について評価を実施しました。（当日出席委員：13名）

評価項目	評価結果		評価の理由等
①施策を構成する事業内容の妥当性	a評価	11名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊富な経験と知識を持つ講師陣による「未来塾」の運営をはじめ、魅力的な事業内容となっている。</li> <li>・人口減少の中で人材育成は中長期的な課題であり、四万十町にとって重要な取組である。</li> <li>・他の市町村であまり例を見ない、四万十町ならではの挑戦だと思います。</li> <li>・町内高校給食支援事業で高校の希望者に給食を配食していることに感心しました。</li> <li>・ビジネスプランコンテスト等、夢が感じられる内容があり、若者の意欲の向上につながる。実際に参観された委員がレベルの高さを賞賛されており、私も一度聞いてみたいと思った。また、町内の高校生にもぜひ見せてあげたいと感じた。</li> <li>・「未来塾」、「四万十塾」、「産業振興塾」ともに力を入れて実施しており取組が評価できる。</li> <li>・各層にあった講座や塾が開催運営されていると考えるため。</li> <li>・それぞれの事業に成果がみられ、地元にも子ども達が残れるような取組も多く評価できる。</li> <li>・地場産業の振興に必要な施策と思われる事業内容についても妥当と考える。</li> </ul>
	b評価	2名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・概ね事業内容は良いが、一部内容を検討したら良いところがある。</li> <li>・「四万十塾」「産業振興塾」で有効性や効率性において、改善が必要であると評価されている。</li> </ul>
	c評価	0名	—

②施策を構成する事業 全体の実績及び成果	a評価	10名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナの為「産業振興塾」は講座等の開設が行えなかった様ですが、産業振興のために今後も講座や事業を行ってください。「未来塾」「四万十塾」は概ね評価出来ます。</li> <li>・コロナの影響により思うような活動ができなかったものの、活動したものについては十分な成果が出ている。</li> <li>・評価シートの事務事業進捗レベルは厳しい点がついていますが、結果が出てくるまでもっと時間が必要だと思います。現段階では芽が出始めている段階だと考えます。</li> <li>・町内の県立高校の入学者数が増加傾向にあるのはすばらしい。</li> <li>・高校存続に向けた様々な取組で一定の成果も出ており評価できる。</li> <li>・ビジネスプランコンテストや人材育成事業が一定浸透していると感じる。また、我が社では町内高校及び「じゅうく」出身のメンバーが社会を担う一員となるべく日々奮闘しており、人材育成の効果を間近で感じているため。</li> <li>・実績のあがっている事業もあるが、この取組が徐々に住民にも浸透していけばもっと実績があがると思う。</li> </ul>
	b評価	3名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一定の成果があがった事業がある反面、一部ではやむを得ない事情により、積極的な事業展開ができていないものがある。何等かの工夫が必要だったと思われる。</li> <li>・近年高校の魅力化支援が実施され、今回実績、成果が向上している。コロナが事業推進に影響している。</li> </ul>
	c評価	0名	—
③施策目標の指標の達成度	a評価	5名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の参加者数もあり、町内高校への進学者数も増えているため。</li> <li>・様々な事業を実施することにより、子ども達の生活環境を支える事で少しでも学力の向上に繋げてほしい。</li> <li>・コロナ禍の影響を加味しても対策としては十分評価できる。</li> </ul>
	b評価	8名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数値目標をもっと上げて良い所があると感じた。</li> <li>・施策評価シートの総括評価Bは妥当である。</li> <li>・地元中学生の町内高校進学率において基本計画に掲げる数値目標が60%と高く設定されており、難しい状況ではあるが徐々に向上している。</li> </ul>
	c評価	0名	—

※a評価・・・評価できる      b評価・・・おおむね評価できる      c評価・・・評価できない

<b>総合評価</b>	<b>A評価</b>	<b>5名</b>
	<b>B評価</b>	<b>5名</b>
	<b>C評価</b>	<b>3名</b>
	<b>D評価</b>	<b>0名</b>
	<b>E評価</b>	<b>0名</b>

(総合評価について)

上記の3項目の評価内容に応じて、以下のとおり機械的に総合評価を判定しました。

A評価・・・全てa      B評価・・・aab、aac      C評価・・・全てb、bba、abc      D評価・・・bbc、cca  
E評価・・・全てc

### その他自由意見

- ・様々な世代や分野、時代の変化を捉えつつ、関係機関の人材育成カリキュラム（例えば県実施の観光創生塾や土佐MBAなど）との違いを整理し、四万十町独自のより魅力的なメニュー構築への進化を期待しています。
- ・産業振興塾の事業内容をもう少し深掘りしてほしい。現在担っている事業者が未来へ益々繁栄できる為に、色々な職業分野へのサポート等が必要だと思う。基幹産業である農業分野はもちろんですが、商工会や観光協会との連携も期待しています。
- ・人材育成は継続性が必要で長期的に取り組むことを期待します。事業には、受講者の評価（事前事後の自己評価や事業に対する満足度評価など）も導入してはどうでしょうか。
- ・時間がかかる事業だと思うので、担当者も周囲も少し長い目でみなくてはならない事業だと思う。
- ・高校の入学者数を向上させることは、少子化で難しい状況にあるが、高校が主体となり特色を創造し、町外や県外の生徒達にも興味関心をもってもらえる学校となる必要がある。四万十高校で言えば、校名を変更し新しいスタートをきった頃の活力ある状況を取り戻してほしい。情報発信力やアピール力が高かった。
- ・四万十高校は四万十川の知名度を利用して全国から生徒を集められないか。